

東京
シニアビジネス
グランプリ

FINAL
ファイナル

次 第

【第1部：ファイナリスト プレゼンテーション】

13:30 オープニング

13:40 ファイナリストプレゼンテーション

【第2部：基調対談／表彰式】

15:45 基調対談

16:55 表彰式

オーディンス賞投票

こちらのQRコードをお手持ちのスマートフォン等で読み取り、ご投票ください。



イベント終了後、こちらのQRコードよりアンケートへのご協力をお願いします。



お問い合わせ >>> 東京シニアビジネスグランプリ事務局(受託事業者:株式会社日広通信社)
電話:03-3233-8385 メール:info_jmk@55-bgp.jp

主催 公益財団法人 東京都中小企業振興公社



東京
シニアビジネス
グランプリ

FINAL
ファイナル

広がる可能性
55歳からの起業

東京シニアビジネスグランプリとは？

東京シニアビジネスグランプリは、シニア層の起業に向けた後押しを行うために令和元年度から開催している55歳以上限定のビジネスプランコンテストです。

応募対象 都内で創業予定～創業5年未満の55歳以上



優秀賞
25万円(1名以内)

奨励賞
15万円(1名以内)

さらに! ファイナリスト10名に、
起業支援資金100万円^(※)

※起業支援資金の交付は、別途実施する審査を通過することが条件となります。審査は、公社指定期日までに都内で法人登記すること等、一定の要件があります。

公式HPはこちらから
<https://www.tokyo-kosha.or.jp/station/grandprix/index.html>



finalists

01 授乳育児相談・産後ケアの個別サポート事業

伊藤 博子 さん

プラン内容

一生の中で最も大切にされるべき出産育児期の不安を抱えている女性たちを対象に、授乳や育児の相談、栄養のある食事や食の知識、産後の身体のケアや新生児育児で寝不足の母親への睡眠時間確保のサポート、そして産院や自治体のサービス以上に満足できる安心とくつろぎの時間を提供します。未来を作る女性たちが身体の休息と心の充足を得られるように丁寧に個別サポートし、個人～家族～社会全体の幸せに繋がります。

シニアから起業しようと思ったきっかけ

約40年間助産師として産院や自治体の業務で産前産後の母子のケアに従事してきた中で「伊藤さんの話をもっと早く聞きたかった!」という女性たちの声が多く、雇われの身では時間や業務の制限があり丁寧なサポートができないことに葛藤してきました。私の父が42年間も病床で過ごして人生を終えた経験から、自分は一生元気で働いて社会に貢献したい!という強い思いで、自分のやるべきことをやれる場所を創ると決意しました。

P
r
o
f
i
l
e



助産師・看護師歴40年。北海道の病院に30年間勤務、3000件起のお産を取り扱う。2010年に東京都に転居、自治体業務(乳児健診・育児相談など)に携わる。2024年7月ママエールテラス助産院を独立開業。

finalists

02 SaaS型・車載電池劣化診断サービス事業

高木 淳 さん

プラン内容

EV問題はすべて電池に帰結するといっても過言ではありません。現在、車載状態で電池劣化度を診断する技術がなく、車から外して数時間かけて精密測定するか、精度の低い測定に甘んじるしかない状況です。当社は、車載でも車外でも2分で90%以上の精度で電池劣化測定ができるアルゴリズムを開発しました。本技術により電池の二次利用が可能となり、モビリティやエネルギーだけでなく、持続可能な社会を切り拓いていきます。

シニアから起業しようと思ったきっかけ

電池劣化診断技術は私のライフワークです。トヨタシステムズ勤務時代に開発した電池劣化診断技術は北米トヨタに採用されるなど、高い評価を受けました。カーブアウトを提案しましたが前例がないとの理由で却下されたため、起業を決意しました。トヨタ車に限らず、トヨタ車以外でも・Li-ion電池・車載オンボード診断・蓄電ステーションでの診断など、東京発の技術でEV電池のポテンシャルを世界に解き放ち社会に貢献していきます。

P
r
o
f
i
l
e



トヨタ自動車に34年、トヨタシステムズに5年勤務し、電動車両と電池の開発に従事。特にLi-ionの性能や劣化はコンピュータで解明できると確信し、現行電池のセル形状や冷却構造の最適化に貢献。工学博士(東大工学部)。

finalists

03 輝けマダム! ドクターズコスメで東京活性化

冠木 美由紀 さん

プラン内容

シニア女性向けドクターズコスメブランド「MAULOA BEAUTÉ」を立ち上げ、当社の第一弾商品オールインワンクリーム「LA CRÉME」の販売を通じ、50代以上の女性達が自信を持って、新たな人生のステージに踏み出す契機を創出します。「TOKYOマダムプロジェクト」と銘打ち、「LA CRÉME」で美しく、自信を取り戻した日本のシニア女性が輝く美しさと活力を世界に発信していき、より輝ける未来を描くことで羨望の都市東京を顕示いたします。

シニアから起業しようと思ったきっかけ

還暦を迎え、今までの夢を叶えていこうとした矢先コロナが明け、マスク解禁後の顔の経年劣化に愕然とし、早急に効果ある化粧品が必要であると感じた焦燥感が起業のきっかけです。デパコス、ハイブランドを数十年使い続けた自分だからこそ、その失望感が起業への大きな力となりました。肌が若返ることで自信を取り戻し、同じ悩みを持つシニア女性たちの起爆力になりたいという思いから「MAULOA BEAUTÉ」の立ち上げを決意いたしました。

P
r
o
f
i
l
e



プライム市場上場の大手塾で社内初女性校長として26年従事。新規事業の企画立案、実施運営を通じ、組織の発展に貢献してきた。最優秀校舎として4度表彰される。

finalists

04 中小企業向けランサムウェア対策システム

高嶋 生也 さん

プラン内容

サイバー攻撃は日常的に発生していますが、企業が公表を避ける傾向や海外からの攻撃が多い事から検挙率は1%未満とも言われ、深刻な社会課題です。特に中小企業が狙われた際の影響はサプライチェーン全体に及びます。機密情報の暗号化と身代金要求が主な手口で、完全防御は困難です。当社は、革新的な方法で、攻撃を受けても迅速かつ確実に復旧できる技術を開発しました。中小企業でも導入可能な製品で、世界のIT基盤を守ります。

シニアから起業しようと思ったきっかけ

還暦までの40年弱は終身雇用を美德とする最後の世代として働いてきましたが、人生100年、今ちょうど中間地点です。現在、働き方は多様化し、シニアでもやりたいことが出来る時代になりました。第二の人生では、社会に貢献しながら自分自身も楽しめる、精神的に充実した生き方を実現したいと考えています。この思いから、これまでの経験を活かした新たな挑戦として起業を決意しました。目指すはピンピンコロリ、生涯現役です。

P
r
o
f
i
l
e



精密機器メーカーに技術者として入社し、複合機事業に従事。入社4年でフランス駐在を経験し、挑戦の楽しさを実感。新規プラットフォームやエコシステム、マーケットプレイス構築など企画業務を歴任。23年に起業。

finalists

05 アートで実現する心地よい共生デザイン

小島 まゆり さん

プラン内容

アートとインクルーシブデザインを融合し「不自由さ」や「物足りなさ」を解消するスタイリッシュな製品を提案します。職人やアーティストと共に生み出す、ガラスや漆のテーブルウェアは、年齢やハンディキャップに関係なく美しい暮らしを彩ります。さらに機能美を追求したオシャレな口ポテックアームやネックレストなどをファッショングッズとして展開し、日常を快適に、そして豊かにする新たなデザインの可能性を切り拓きます。

シニアから起業しようと思ったきっかけ

私は難病を抱える中途障害者として車椅子生活になり、不自由な時間を過ごしてきました。かつてイギリス王立美術院のインクルーシブデザインと出会い感銘を受けたこと、医師や友人たちの「おしゃれな福祉用品を作ってほしい」という声に背中を押され、長年のファッション業界経験を活かし不便を解消する機能美とアート性を備えた製品を届けたいと起業を決意しました。

P r o f i l e



オンワードでファッショングッズ、ゴルフエジュエリーデザイナーとしてパリコレ経験。独立後、仏フィガロ紙見開き特集『ヴァンドーム広場が無視できない十のブランド』選出。美大にてゼミを担当。犬の好き。

finalists

06 企業向け仕事と育児の両立支援サービス提供

高田 葉子 さん

プラン内容

企業向けに仕事と育児の両立支援サービスを提供します。企業の従業員を対象に仕事と育児の両立に関する様々な課題に対応するコンサルテーションやセミナーを実施し、若い子供がいて働くことが、キャリアや子育てにマイナスとなりがちな現状の転換を目指します。顧客は企業であり、これまで国や企業の対応が難しかった分野の支援を補い従業員の両立をサポートすることで、自分らしい活躍と充実した生活を支えるインフラ的事業となります。

シニアから起業しようと思ったきっかけ

自身の両立経験や仕事として女性活躍・両立支援の実施経験に起因します。現在は働く親が直面する多くの課題への対応が十分ではなく、支援の必要があることを痛感しました。そこで、シニアだからこそできる経験・知見・ノウハウ・人脈の掛け算に加えて、子育て世代への相談対応で得られた多くの課題やニーズを反映し、本当に必要とされる支援を届けることで、従業員、企業、社会に貢献したい、という強い想いで起業に至りました。

P r o f i l e



外資系金融機関で営業職に従事しながら女性活躍やダイバーシティ推進に参画。その後保育大手で育児コンサルタント部門の統括及び自身も年間2000件の相談やセミナーに対応。2024年8月(株)ファミルス設立。

finalists

07 地域発の野鳥・野生生物観光開発・販売事業

田儀 耕司 さん

プラン内容

本事業は、訪日外国人向けに野鳥や自然を観察することで自然保護につながるエコツアーの提供、及び地方におけるその基盤づくりを行います。皇居や日光で定期開催ツアーを行う他、個別ニーズに応じたカスタムメイドのツアーも実施し、参加者に日本の自然を体験してもらいます。それと同時に、ガイド等必要な人材育成や観光客誘致等を通じて、地域経済へ貢献し、自然資源の保全と観光収益の両立を図ることを目的としています。

シニアから起業しようと思ったきっかけ

日本は多様な気候帯と地形を持ち、独自の生態系が豊かですが、都市化と工業化の影響でその自然は失われつつあります。海外でのエコツーリズムに関わる中で、自然保全と収益の両立が可能な仕組みの重要性を痛感し、日本の自然資源も同様の価値を発揮できると確信しました。貴重な自然を次世代に残しつつ、エコツーリズムを通じて自然環境保全と自然資源を活用した地域経済への寄与を目的に、起業を決意しました。

P r o f i l e



環境庁自然保護局、JICA等でエコツーリズムや生態系保全に従事。プータンなど海外でのプロジェクトマネージャー経験を持ち、国内外のバードウォッチングツアーにも精通。観光と生物多様性保全の両立を目指している。

finalists

08 江戸前の粋を継承しお祭り文化を盛り上げる

直井 美穂 さん

プラン内容

私たちは粋で新しいデザインにこだわり、江戸時代から続くお祭り文化を次世代に繋ぐためにファッション面から改革します。お神輿を担ぐスタイルは江戸時代の火消しや職人の恰好で、それが現代まで残ったのは貴重なことです。その歴史的背景や粋な着こなし方を伝え、伝統的な装束を現代の素材やデザインで刷新し、日常着として着られるようにアレンジします。また、「まだ世に出ていない和服」として海外への販路拡大も目指します。

シニアから起業しようと思ったきっかけ

ずっと起業願望がありましたが、アイデア止まりで実現しませんでした。身体的に不安定な40代を過ぎ、50代になって残りの人生が見えたときに、一度は自分の力を出し切ってチャレンジしないと後悔するのではと考えるようになり、その思いは日増しに大きくなりました。そんな時6歳下の夫も50代を迎え、会社でストレスフルな状況になり、このままでは病気になる、自分達らしく生きるためにも起業しようと話し合い決断しました。

P r o f i l e



愛媛県出身。幼少期は地元の太鼓台に夢中。大学卒業後キャノン販売(株)勤務、その後メガバンクで外為営業などを経て、直近は大手百貨店勤務の主婦。お神輿好きの夫と祭り装束・用品のECサイトを今年6月に開業。

finalists

09

在宅医療患者のためのプラットフォーム事業

出塚 豪記 さん

プラン内容

分かりやすく例えると、食べログ+弁護士ドットコム在宅医療版です。在宅医療の情報発信とマッチングサービスを行うプラットフォームを構築し、患者様やその家族が最適な在宅医療提供者を見つけられるサービスを提供します。在宅医療の認知度を高め、利用者の利便性を高めます。最終的にはバーチャル、そしてリアルに地域コミュニティを形成し、皆さんが世代や立場を超えてつながり、安心して生活できる世界を実現します。

シニアから起業しようと思ったきっかけ

私は医療関連業界で33年勤務し、医療の最大かつ最終受益者は患者様であるという信念を持ち、患者様を第一に考えたサービスを構築したいと考えていました。前職時代に、在宅医療の企画をする中で複数の在宅医にインタビューする機会を得て、様々な課題を知りました。今後高齢化社会が加速し、在宅医療のニーズが高まっていく中、その課題解決に向けて自分のノウハウを活かすことが患者様への貢献になると考え、起業を決意しました。

Profile



1967年北海道生まれ。放射線技師として医療現場で11年、その後、3社にて医学電子書籍のプラットフォームの立ち上げ、グロースに22年携わる。医療メディアを経て、2024年11月に在宅医療com(株)を創業。

finalists

10

「口腔ソムリエ®」による口腔ケアサービス

宮田 美江子 さん

プラン内容

「歯医者に行っているから大丈夫」という誤った認識から、日本の口腔ケアのあるべき姿は「自分の健康は口から守る」という習慣に変化しないと考えています。自分に合った正しい口腔ケアを継続することで、健康を維持し美容にも効果があがります。そのために、お客様と面談しながらご自分に合った口腔ケア法を提案するサービスを提供しています。また、各種セミナーを実施し正しい口腔ケアの啓蒙活動を行なっています。

シニアから起業しようと思ったきっかけ

歯科衛生士として25年の経験を経て、「これからの人生このまま終わらせてしまっているのか」と昨年まで自問自答していました。そこで出会った早稲田大学LRCがきっかけとなり、歯科医任せではなく、自分で口と健康を守る大切さを伝える「口腔ソムリエ」として活動することに使命感を感じました。より多くの人に口腔ケアに関心を持ってもらい、健康で生き生きとした生活を送ってほしいという想いから、起業を決意しました。

Profile



歯科衛生士の経験に加え、健康管理士・コスメコンシェルジュの資格を取得し「口腔ソムリエ(商標登録済)」として活躍中。お客様に合った口腔ケア方法を、1対1の対面でコーチングしている。

シニア起業家による基調対談

「最強の定年後」が「最強の人生」に
～シニア起業に挑戦して、55歳からの人生を黄金期に～

野口 雄志 氏

青木 源太 氏

大手企業IT部門のトップまで登り詰め、自身もシニア起業を成功させた野口氏が語る、これからの人生を輝かせるシニア起業の極意。間もなく定年を迎える今、自分の人生を更に輝かせる選択肢として“シニア起業”を考えてみませんか?次世代への“恩送り”となる良い仕事を生み出す起業は、「自分の好きなことで社会貢献したい」、「今までの経験を活かしてもっと自由に働きたい」という希望を叶える第一歩です。起業を決めた方はもちろん、起業を考えていなかった方、もしくはシニア起業に対して不安に思っている方にも安心感を得ていただけるような、お話をお伺いしてまいります。



野口 雄志 氏 *Noguchi Yushi*

日本通運株式会社にてシステム部門を中心に従事。IT部門トップとしてIT改革プロジェクトを成功に導き、「日通ITの野口」と業界内で語り継がれる。定年退職後はコンサルティング会社を起業し企業支援のほか、大学講師、ビジネス書作家、ラジオパーソナリティなど幅広く活躍中。また人気セミナー講師として全国、海外を忙しく飛び回っている。



青木 源太 氏 *Aoki Genta*

慶應義塾大学卒業後、アナウンサーとして日本テレビへ入社。情報・バラエティ番組への出演を中心に、人気番組のMCも担当。現在はフリーアナウンサーとして「日本一のイベント司会者」を目指し活動中。2023年10月より関西テレビ「旬感LIVE とれたてっ!」のメインMCを務めている。

審査員 Profile

審査項目

- 1 経営理念・ビジョンの明確さ
- 2 ビジネスモデルの実現性・収益性
- 3 市場の理解度
- 4 計画の妥当性
- 5 プレゼンテーション力

Kagami Shigeo



審査員長

各務 茂夫 氏

東京大学 大学院工学系研究科 教授/
東京大学 産学協創推進本部 副本部長

Yamaguchi Satomi



山口 里美 氏

株式会社グランサクシード 代表取締役

Kodaira Kazuyoshi



小平 和良 氏

株式会社日経BP メディアマーケティング統括
補佐/日経トップリーダー前編集長

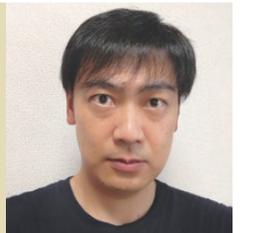
Kawamoto Fumiko



河本 扶美子 氏

株式会社ファーストブランド 代表取締役/
TOKYO創業ステーション コンシェルジュ

Mukasa Taiju



向笠 大樹 氏

株式会社日本政策金融公庫 国民生活事業本部
東京創業支援センター 所長